

平成20年度市民生活実感調査において、設問を変更した施策と調査結果

| 施策 No. | 施策名 | 変更前(19年度) | 考え方 | 変更後(20年度) | 評価結果 | | |
|--------|-----------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------|------|----|
| | | | | | 19年度 | 20年度 | 比較 |
| 1133 | 障害のある子どもの教育の推進 | 障害のある子どもの状況に応じた養護育成教育が行われている。 | 「養護育成」, 「総合育成支援」ともに分かりにくい。 | 障害のある子どもの状況に応じた教育が行われている。 | c | c | → |
| 1212 | 高齢者とその家族の生活を支えるサービスの充実 | 高齢者とその家族を支えるサービスが充実している。 | 「サービス」だけでは分かりにくい。 | 高齢者とその家族を支えるホームヘルプ(訪問介護)などのサービスが充実している。 | c | c | → |
| 1213 | 障害のあるひととその家族を支えるサービスの充実 | 障害のあるひとやその家族を支えるサービスが充実している。 | 「サービス」だけでは分かりにくい。 | 障害のあるひとやその家族を支えるホームヘルプ(訪問介護)などのサービスが充実している。 | d | c | ↑ |
| 1223 | 障害のある子どもや養護に欠ける子どもに対する子育て支援 | 障害のある子どもや養護に欠ける子どもに対する子育て支援が十分に行われている。 | 「養護に欠ける子ども」が分かりにくい。 | 障害のある子どもや保護者の養護が足りない子どもに対する子育て支援が十分に行われている。 | c | c | → |
| 2221 | 21世紀の京都を牽引する観光の創造 | 社寺のライトアップなど、新たな観光資源の開発が活発である。 | 「社寺」が分かりにくい。 | 寺院, 神社でのライトアップなど、新たな観光資源の開発が活発である。 | a | a | → |
| 2334 | 観光における高度情報化の推進 | 市内の観光情報がインターネットに掲載されているので、便利である。 | 「京都」では府下も入るが、府下と市内では観光の状況が大きく異なる。 | 京都市内の観光情報がインターネットに掲載されているので、観光客にとって便利である。 | b | a | ↑ |
| 3120 | 市民との対話による双方向性の確保 | 市の職員と市政に関する意見交換が気軽にできる。 | 「市政」だけではイメージがしにくいため説明を追加。また「双方向性の確保」を表すよう「機会」の有無を問う。 | 市の方針や仕事の内容について、市の職員から説明を受け、意見交換ができる機会や場が十分ある。 | d | d | → |
| 3210 | 市民が政策形成に参画できるしくみづくり | 市の計画や条例に対する意見募集や委員公募など、企画段階から市民が意見を言う機会が十分ある。 | 「計画」「条例」「委員公募」「企画段階」が分かりにくい。 | 市の方針や仕事の内容について、企画段階から市民が意見を言う機会が十分ある。 | d | e | ↓ |

○ 8問の設問の表現を変更した。

○ 変更した設問のうち、評価が上がったものが2問、評価が下がったものが1問であった。